

笑顔のために



議会だより

令和元年6月1日発行

No.412

富士宮市議会2月定例会
年5回発行

“平成”から
“令和”になっても、

みんなの
笑顔のために！！

▲北山小学校6年生（2月定例会時）
市議会傍聴見学

目次

- | | | | |
|--------------------------|----|---|----|
| ● 常任委員会の活動報告…………… | 2 | ● 予算審査特別委員会…………… | 18 |
| ● 2月定例会の議決結果…………… | 3 | ● ICT利活用推進特別委員会の報告、
平成30年度政務活動費・議長交際費…………… | 19 |
| ● 一般質問…………… | 4 | ● 市議会視聴実績／編集後記…………… | 20 |
| ● 施政方針・重点施策に対する総括質疑…………… | 14 | | |

常任委員会の審査

各常任委員会では、所管事務調査で専門的な調査を実施しました。

総務文教委員会

所管事務調査

- 世界遺産のまちづくりについて【政策課題】
(富士山本宮浅間大社東側市有地整備事業及び一級河川神田川護岸工事(県施行)の進捗状況について)

【稲葉晃司委員長のコメント】

総務文教委員会では、富士山本宮浅間大社東側市有地整備事業の進捗状況について所管事務調査を行い、平成31年3月23日にオープンした、Mt.Fuji Brewingを視察。店舗内の様子や、300ℓの仕込み釜をもつビールプラント、厨房での調理の様子などを見学しました。その後、経営者にお話を聞かせていただき、厳選した富士宮市の食材をお客様に楽しんでいただきたいとのことでした。中心市街地の活性化の新たな可能性に期待したいものです。



▲ Mt.Fuji Brewing にて

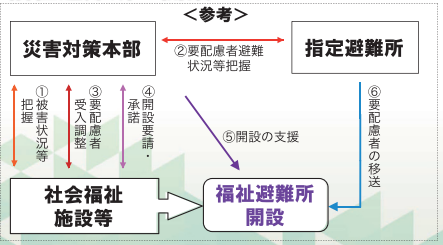
環境厚生委員会

所管事務調査

- 富士宮市立病院の事業報告について
- 福祉避難所の運営について

【齋藤和文委員長のコメント】

福祉避難所の開設



▲福祉避難所の開設についての資料

環境厚生委員会では、平成30年3月に当局へ提言した、年に一度の富士宮市立病院の事業報告を受け、各委員からは医師・看護師不足の対策や修学資金貸与の状況や卒業後の市立病院への勤務状況の実態など多くの意見が出されました。福祉避難所については、市から事業者に対する方向性が明確化していないこと、要配慮者(高齢者・障がい者)の中に、妊産婦や乳幼児も入れるべき、災害時のスクリーニング等を改善するよう、意見が出されました。

産業都市委員会

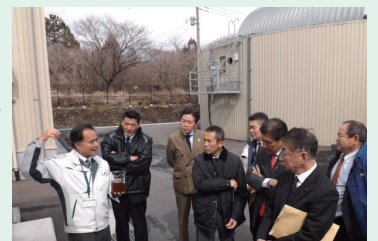
所管事務調査

- 環境調和型バイオマス資源活用モデル事業について
- 富士宮市北部の観光施設について

【佐野和彦委員長のコメント】

所管事務調査として、平成30年8月末で実験終了予定の富士山朝霧バイオマスプラントと北部観光の起点となる道の駅朝霧高原とあさぎりフードパークの現地調査を行いました。この中で、プラントが今後も朝霧の酪農家のための施設であることを引き続き行政課題とすること、中部横断自動車道開通の影響、看板や誘導路等の問題提起があり、今後の行政課題として取り上げていくことを望みます。

また、2年間取り組んできた政策課題について委員長報告を行い、その後、市長に提言書を渡しました。



▲富士山朝霧バイオマスプラントにて

2月定例会 議案審議

2月8日開会～3月13日閉会

議案番号	件名	議決結果
報 第 1 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報 第 2 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報 第 3 号	富士宮市土地開発公社の平成 31 年度事業計画の報告について	//
報 第 4 号	公益財団法人富士宮市振興公社の平成 31 年度事業計画の報告について	//
報 第 5 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
議 第 1 号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	全会一致 原案可決
議 第 2 号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 3 号	富士宮市新稲子川温泉ユー・トリオ条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 4 号	富士宮市指定地域密着型サービス等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 5 号	富士宮市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 6 号	富士宮市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 7 号	富士宮市職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議 第 8 号	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	//
議 第 9 号	富士宮市星山浄化センター沈砂池設備建設工事（更新工事）委託に関する協定の変更について	//
議 第 10 号	市道路線の認定について	//
議 第 11 号	平成 30 年度富士宮市一般会計補正予算（第 4 号）	//
議 第 12 号	平成 30 年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	//
議 第 13 号	平成 30 年度富士宮市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	//
議 第 14 号	平成 30 年度富士宮市根原区財産区特別会計補正予算（第 2 号）	//
議 第 15 号	平成 30 年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	//
議 第 16 号	平成 30 年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 3 号）	//
議 第 17 号	平成 30 年度富士宮市水道事業会計補正予算（第 3 号）	//
議 第 18 号	平成 30 年度富士宮市病院事業会計補正予算（第 2 号）	//
議 第 19 号	平成 31 年度富士宮市一般会計予算	//
議 第 20 号	平成 31 年度富士宮市北山財産区特別会計予算	//
議 第 21 号	平成 31 年度富士宮市国民健康保険事業特別会計予算	//
議 第 22 号	平成 31 年度富士宮市上井出区財産区特別会計予算	//
議 第 23 号	平成 31 年度富士宮市猪之頭区財産区特別会計予算	//
議 第 24 号	平成 31 年度富士宮市下水道事業特別会計予算	//
議 第 25 号	平成 31 年度富士宮市根原区財産区特別会計予算	//
議 第 26 号	平成 31 年度富士宮市介護保険事業特別会計予算	//
議 第 27 号	平成 31 年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議 第 28 号	平成 31 年度富士宮市農業集落排水事業特別会計予算	//
議 第 29 号	平成 31 年度富士宮市水道事業会計予算	//
議 第 30 号	平成 31 年度富士宮市病院事業会計予算	//
議 第 31 号	平成 30 年度富士宮市一般会計補正予算（第 5 号）	//
諮 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
選 第 1 号 ） 選 第 19 号	農業委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	//
議 選 第 1 号	共立蒲原総合病院組合議会議員の選挙について	決定

※報＝市からの報告 議＝条例・予算・契約などの議案 諮＝人事案件のうち、人権擁護委員候補者
選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件（2月定例会からの通し番号となります。）
※詳しくは、市議会事務局（電話 22 - 1191）までお問い合わせください。



うすい 白井 すすむ 議員
(進新会)

芝川地区・自治会区割り規模の現状考察について

問 区の大小による長所・短所は。

部長 大きな区は担い手、財源確保が容易で多様な活動が可能。反面、住民の考え方をまとめることが難しい。小さな区は逆であり、住民の顔が見える関係で、まとまりある自治会運営ができる。反面、役員の担い手不足が考えられる。

問 旧市域と芝川地区の比較では、規模大小の差があり過ぎるのではないかと。

部長 一区あたり平均世帯数では差があるが、旧市域にも小さな区は点在しており、一概に芝川区域自治会が小さいとは言えない。

問 自治会役員受任の頻度や、家庭事情等から、担い手不足があるか。

部長 役員負担軽減のため、任期の変更、選出方

法及び行事内容の見直し、統合の相談も含め対応。

問 自治会の統廃合は。

市長 各地域の歴史や伝統の上で、区の存在重視の意識は高い。調査を踏まえ動く。

要望 今回で質問は終結する。今後の議場論戦の充実を願う。熱い一般質問、万歳。



すずき 鈴木 ひろむ 議員
(政経会)

水道事業における「コンセッション方式」などについて

問 人口減少に伴う水道使用量の減少により収益が悪化するというのが富士宮市の場合どうか。

部長 水道使用量は年々減少傾向にあるが、市内大手の複数の事業所より水道の使用量を増やしたいという相談もある。急激な経営状況の悪化という事態は想定していないが、今後の動向を注視していく必要がある。

問 老朽化した管路の更新は計画通りできるのか。

部長 純利益も減少しているが、必要な財源は、12年間借入れを凍結していた企業債を平成31年度より借入れ、未償還残高を増加させないレベルで補てん財源を確保し、水道ビジョンに計画されている更新事業を推進していく。

問 「コンセッション方式」への市長の考えを伺う。

市長 いろいろな疑問や市民の不安が解消されない限り、市民のための重要なライフラインは、市の責任において運営すべきであり、コンセッション方式への移行は考えていない。

キャッシュレス決済への取り組みについて

問 市も小売店のキャッシュレス化を後押しすべきと思うがいかがか。

部長 市としてはキャッシュレス化に関する国の最新情報を入手し、情報提供することで市内のキャッシュレス化を図り、市民の日常生活がさらに便利となる社会の実現を目指していきたいと思っている。



▲スマートフォンでのキャッシュレス決済



えんどう ひであき
遠藤 英明 議員
(無会派)

統一的な基準による公会計の整備促進について

問 財政指標の設定、資産管理の活用をどのように図るのか。

部長 有形固定資産減価償却率が重要であり、老朽化の比較可能により、施設の長寿命化対策の効果を反映する指標となる。

問 財務データを、行政経営の全体像と環境分析のツールとして、どのように活用するのか。

部長 公共施設の効果的・効率的な整備・運営のため、民間のノウハウや技術を活用するPPPIは、現在、取り組み事例が一部の大都市のみとの状況から、PPP導入は今後の課題と認識する。

問 事業別、施設別のセグメント分析は。

部長 セグメント分析は行政コストの分析として有益な手法であることから、県の市町行財政課が

主催する行政経営研究会などに参加し、先進事例の情報収集に努める。

問 現金主義の欠点とは何か、それを補う発生主義が必要な理由は。

部長 現金主義では把握できなかった資産と、その価値などの情報を把握・管理するため、現金主義、単式簿記を補完する発生主義、複式簿記による財務書類の作成が必要。

県道大坂富士宮線と1級市道大塚弓沢線の交差点、通称「よろづや交差点」について

問 平成14年の陳情後の経緯、経過、計画遅延の要因、今後の見通しを伺う。

部長 陳情の要望を受けたが、信号機設置については、条件である交差点改良の地元調整が難航したため実現しなかった。交差点付近の地権者の理解、事業用地の境界が確定できないことにより事業実施を断念した。

副市長 地権者に境界だけでも立ち会い、確定ができれば、できるところをやって、その中で警察と協議して信号機設置も可能かと思われる。



さいとう かずふみ
齋藤 和文 議員
(公明会)

SDGsの推進について

問 富士宮市がSDGsに対して今後どのように取り組んでいくのか。

市長 平成30年12月の全国小水力発電大会でも取り組みを述べたが、第5次富士宮市総合計画の中にも網羅されているものも多い。今後はSDGs関連の民間ビジネスの広がりを期待する。

部長 31年度施政方針の中で方針を発表し、市総合計画後期の策定の中で、事業との関連を整理し反映させていく予定である。

問 まずは市役所職員がSDGsをどのように理解をしていくのか、方法は、予算措置は。

部長 職員向けの研修を行う予定である。来年度予算に研究や研修を行う予算を措置する予定である。予算は必要であれば、再来年度以降も措置すべきと考えている。

第1次富士宮市行政経営プランについて

問 自主財源の確保とは。

部長 これまでに取り組んだ有料広告事業や、図書館の雑誌スポンサー制度の導入に向け、先進事例の情報収集に努め、ふじのみや寄附金については、返礼品の充実や、寄附をしやすい環境整備に取り組んでいる。

問 各自治体が行っている公共施設内自動販売機設置事業者を公募しているという事実が1つある。それも、価格競争入札制度を導入している。県の入札結果は導入前404台収入250万円から、導入後は2億5000万円になり多くの利益が出たが、富士宮市はどうなっているのか。

部長 庁舎内自動販売機は、市民の皆様、職員福利厚生のため、減免措置を取ってきた。今後は議員から指摘を受けたとおり、他自治体の動きも承知しているので、33年度末の契約満了をもって現契約が終わるので、以降の再契約に関しては、より良い方法を検討していきたい。



なかむら けんいち
中村 憲一 議員
(進新会)

人口減少時代における上下水道経営のあり方と下水道イノベーションに基づいたエネルギー拠点としての資産活用について

問 上水道事業の見通しはいかがか。

部長 平成34年度の認可変更に伴う人口予測及び計画給水量を精査し、使用水量の縮小が見られる地域においてはダウンサイジングを検討。給水収益も年々減少傾向にあるが、急激な経営悪化は想定していないため、県下で5番目に低い水道料金は維持する。運営権を売却するコンセッション方式による官民連携は採用しない。

問 下水道事業の見通しはいかがか。

部長 使用料水準を図る指標である28年度の経費回収率は約75.8%であり、類似団体の93.8%と比較して大きく下回っており、適正な水準とは言えない。32年度から地方公営企業法による企

業会計へ移行し、経営の効率化、健全化を目指し、経費削減や接続率の向上に取り組むとともに、使用料の適正化も検討する。

問 接続率の向上のために、上水道を打ち水や農作業で使用した際に、夏期限定で下水道使用料の割引や定額制を検討できないか。

部長 上水道と下水道の使用料が著しく異なる場合は、事業者に限り減算メーターで対応している。今後、個人への拡大は考えられる。

問 下水道イノベーションによると、バイオガス、汚泥燃料、肥料等に活用できる日本産資源として下水汚泥が注目されている。星山浄化センター内の未利用地を活用して、官民連携で消化ガス発電に取り組み、経営が厳しい下水道施設自らが“稼ぐ力”を発揮するべきではないか。

部長 全国の下水处理場で発生する汚泥は、約110万世帯分の電力を発電するエネルギーを保有していると言われるが、消化ガス発電に取り組むには汚泥消化方式の採用が前提となり、当市では同方式を採用していないため、難しい。



うえまつ けんいち
植松 健一 議員
(蒼天)

災害避難対策について

問 大規模災害時に上下水道が破断してしまうと避難所や各家庭の水洗トイレは使用できなくなる。携帯トイレの備蓄が必要と考えるがいかがか。

部長 大規模地震により水道施設に被害が及んだ場合、トイレの使用ができないことが最大の問題点となることも十分考えられる。県では昨年11月に携帯トイレ備蓄推進のパンフレットを作成した。当市においてもこれから実施する防災関係の会議や出前講座などで、各家庭や地域で携帯トイレ備蓄の啓発活動を行っていく。

問 広域避難所では関係する複数の自主防災会との連絡調整が必要である。各広域避難所で早期に運営委員会の立ち上げが必要と考えるがいかがか。

部長 災害が発生した際には避難所運営にどれだけ地域住民が積極的にかかわるかで、その避難所の質が変わってくると言われる。避難所運営連絡会や地元説明会で広域避難所運営委員会の有用性を説明していくとともに、地域からの要望があった場合には積極的に立ち上げを支援していきたい。

空き家対策について

問 空き家の活用の状況について伺う。

部長 稲子地区、猪之頭地区においては地元住民による空き家の紹介が行われており、これまで稲子地区では11件、猪之頭地区では4件の活用実績がある。

問 空き家の発生を抑制する解決策はあるか。

部長 民間事業者との共働により、空き家に関する情報冊子を作成した。空き家の所有者や相続人に対し配慮し、適正な管理の促進に努めていきたい。また積極的な情報提供を行いさまざまな相談に応じることができる体制を整備することにより対応していきたい。



さの かずひこ
佐野 和彦 議員
(富岳会)

聴覚障がい者の未来

問 我が市には、人工内耳を使う聴覚障がいを持たれた方は何人いるのか。

部長 市では、人工内耳を使用している人数は把握できていないが、日常生活用具給付制度を利用して、人工内耳の電池・充電器の給付を受けた方は9人いる。

問 人工内耳の体外機本体交換の助成ができないか市長に伺う。

市長 更新については医療保険が適用されず、利用者の経済的負担が大きいので、助成の必要性は大きいと考える。平成31年度から他市に劣らない手厚い助成をしていきたいと思う。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の今後

問 今回、県の見直しで土砂災害警戒区域と土砂

災害特別警戒区域に変化が生じたか伺う。

部長 15年に383カ所あった土砂災害危険箇所は、27年8月には404カ所に見直された。30年3月現在、土砂災害警戒区域が367カ所あり、この中に土砂災害特別警戒区域が316カ所含まれ、31年3月末には28カ所が新たに指定される見込みである。

問 住むことのできない場所になった場合、何か救済策はあるのか。

部長 土砂災害特別警戒区域に指定された場合、崖地近接危険住宅移転事業の対象となるため、住宅の除去や撤去に係る費用に対して、80万2千円の補助や、移転先の土地を購入する費用の利子のみに対する補助制度がある。

問 土地が崩落などした場合、固定資産税の見直しは行われるのか。

部長 固定資産税は現況課税になる。本人からの申請があれば、現場確認のうえ、減免の取り扱いの規定があるので、減免措置される可能性もある。



さの としお
佐野 寿夫 議員
(公明会)

富士宮市内の交通人身事故発生状況とその対策について

部長 平成30年と29年の対比で、増加率では県内でワーストワン。また、加害者の約7割が富士宮市民である。市スローガン「世界遺産富士山に恥じない交通マナー都市 富士宮」を掲げ、市民に交通安全啓発を行っていく。



▲世界遺産富士山に恥じない交通マナー都市 富士宮

1級市道外神馬見塚線の交差点について

部長 路面標示による注意喚起、安全対策につい

て検討する。今後、信号機の設置について再度公安委員会へ要望していきたいと考えている。

上野バイパスの進捗状況と国道469号精進川地先の拡張整備の方向性について

部長 事業用地の取得は、8割を超える契約が完了している。30年度は、一部区間のつけかえ水路の工事に着手している。31年度は引き続き、用地買収及び建物補償交渉を優先的に進めたい。

問 国道469号精進川地先の拡張整備は。

副市長 県に、国道469号御殿場バイパスの整備が終わったら、すぐに用地買収等に入れるよう、調査の前倒しをお願いしている。

夢ステージの評価と今後代替となる企画を推進することについて

部長 市民が主体的、自発的に公益活動を推進し、ともに支え合う自立したまちづくりとしても大きな意味があった。障がいのある人を初め、市民が主体的に行うイベントや活動には、市として障がい者理解の促進、市民協働の観点からも、今後も支援をしていきたい。



こまつ かいぞう
小松 快造 議員
(富岳会)

第4回全国小水力発電大会in富士宮について

問 今大会を生かし、富士宮市の再生可能エネルギーにどのような変化をおこし、また次の世代にどのようにつなげていくのか。

部長 3日間での延べ人数2450人、パネル討論、企業展の来場者が述べ1582人、うち市民参加は552人、多くの方に参加をいただいた。

今後も、小水力発電を含む再生可能エネルギーについて参入を希望する事業者があれば、情報提供や相談等、推進に向けた支援を行いたい。

今回作成した記念冊子について、出前講座を初め、小学生を対象としたアースキッズ事業等による環境教育に活用し、地球にやさしい再生可能エネルギーについて、一人でも多くの環境リーダーが育つよう取り組んでいく。こうした取り組みを推進し、地域の活性化や地域循環型社会の実現向

けた施策に生かしたい。

持続可能な開発目標について

問 SDGs、17の目標のうち環境と教育につながる7つの目標について市の考えを伺う。

部長 SDGsとは、持続可能な社会を実現するため、環境、教育、貧困など17分野にわたる課題について、2030年までに目標達成を目指すという、国連で採択された国際社会全体の目標。

富士宮市が持続可能なまちづくり目指し、地方創生事業として取り組んでいる施策、その多くが、SDGsが掲げる目標と同調している。目標一つ一つを見ると、私たちの暮らしに密接に結びついていることが多くある。市や民間企業はもちろん市民一人一人がこの目標を意識し行動することが重要である。

SDGsを意識することで自分たちの生活を国際視点からも感じ取れると思う。



▲ SDGs 17の目標



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介 議員
(政正会)

健康寿命の指標であるお達者度が低い要因とその影響について

問 健康であることが、幸せの大きな要素であると考えが、富士宮市の男性のお達者度は、県内35市町中27位と下位である。その財政的な影響はどの程度であると推察できるか。

部長 お達者度が低く、寝たきりの年数が増えることで、トップの裾野市とは介護給付費で、年間3億円の差が出ている。

問 その結果、将来的にどうなるのか。

部長 介護保険料の値上げにつながる。

問 富士宮市の男性は、特定健診受診者のアンケート結果からどういう傾向が出ているのか。

部長 喫煙率13.14%（県平均11.96%）と、お酒を毎日飲む習慣23.32%（県平均20.36%）が高い。また、食べる速度が速い、就寝2時間前に

食事をとることが多い、夕食後に間食をする、朝食を抜くことが多い。以上の傾向がある。

要望 富士宮市の男性の健康寿命が短いという実態を市民に周知するようにしていただき、ポイントを絞った健康指導をお願いしたい。

地域電子マネーの提案について

問 市内の電子マネー決済状況はどうなっているのか。

部長 大手量販店では、クレジットカード決済47.9%、電子マネー決済24.1%、現金決済28%と72%が電子決済である。一方、個人店舗ではほとんど電子決済に対応していないため、市内全体では利用率は大幅に下がると思われる。

問 お金が循環する地域電子マネーを金融機関と一体で導入すべきと考えるがいかがか。

部長 前向きに研究したい。



▲高山市、飛騨市等で使える、さるぼぼコイン



よこやま こういちろう
横山 紘一郎 議員
(政経会)

水道法改正に伴う富士宮市の水道の見通しについて

問 命に直結する水道事業を営利目的の民間業者に委ねた場合のメリット、デメリットの方策はあるのか。

部長 コンセッション方式の自治体側のメリットは、運営権設定に伴う対価の取得、民間事業者の技術力や投資ノウハウを生かした老朽化、耐震化対策の推進、また技術職員の高齢化や減少に対応した技術継承の円滑化などがうたわれている。デメリットは、民間企業は営利を目的としていることから料金改定の上限は設定できるが、大幅な値上げや水質管理に係る投資を怠ることによる水質悪化の可能性などが想定される。そのため監視する専門的な職員の配備が必要になり、新たな経費も生じてくるので総合的に勘案すると、本市の水

道事業としては、コンセッション方式の採用を考えていない。

問 現在利用していない旧大宮配水池の跡地について、今後、緊急時の防火用としての役割など、利用計画について。

部長 現在使用している大宮配水池の更新時の代替施設として考えている。

小中学校のエアコン設置事業について

問 市内850室、総予算33億円という大型予算事業であるが、先行すべき設計は進んでいるのか。

部長 入札は35校を4段階とする。まずは第1段階として3月22日に実施し、順次4月末、5月末、7月末に実施する予定。第1段階では、大宮小、貴船小、西小、芝富小の4校を計画している。

問 空調機、キューピクル新設の納期について。

部長 入札業者と綿密な打合せをし、できる限り遅れないよう進めたい。



わかばやし しづこ
若林 志津子 議員
(日本共産党議員団)

高すぎる国民健康保険税を協会けんぽ並みに引き下げるよう要望

問 国保は他の保険制度と比べ、所得は低いですが保険税が一番高いという不公平がある。均等割、平等割の見直し及び廃止を行うことと、国が1兆円の財政支援を行えば、協会けんぽ並みに引き下げられることの見解は。

部長 保険税が高いことは制度を理解してもらうよう説明している。均等割、平等割への市独自の減免制度は予定していないが、1兆円の財政支援を求めるとともに、引き続き市長会等を通じて財政支援の拡充を強く求めていく。

小中学生のランドセル、かばんの重さ軽減の対策を行ったのか

問 平成30年6月の一般質問後、文科省から通達が出された。小・中学校で対策はされたか。

教育長 小学校は全ての学校で、中学校では5校が以前から行い、残り8校が対策を行った。対策内容は学校に置いてよい教科書、日課の調整、教師間での再確認、保護者へのお便りなど。

中学生の制服に女子用スラックスを加えて！

問 東京都世田谷区などで実施している。当市でも寒さ対策、多様性の観点から実施を。

教育長 北部の学校での寒さ対策は、タイツの使用で対応できている。多様性の観点は今までも認めてきた。それ以外でスラックスへの要望はないが、今後要望が増えてきたら考えたい。

安定ヨウ素剤の備蓄場所を増やして！

問 安定ヨウ素剤を配布する事態のとき、子どもに早く配布できるよう、事前に学校、幼稚園、保育所、認定こども園などに備蓄できないか。

部長 備蓄場所は、職員が常駐し安全性が確保され、直射日光を避けられる保管場所があることから、本庁舎ほか5つの出張所としている。配布時はこれらの6カ所から44カ所の指定避難場所に配布する予定。



むら せ
村瀬

ひとし
旬 議員
(政経会)

保育園において保育中の体調不良時、諸事情により出迎え困難な保護者にかわり市が受診させるシステムの実現について

問 現在、富士宮市の保育園で急に子どもが体調不良になった場合、どのような対応を行っているか、また頻度はどの程度か。

部長 体温が38度以上になった場合や嘔吐、下痢が続いた場合など、保護者に迎えに来ていただくよう保育士が連絡をし、迎えに来ていただいている。保護者がすぐに迎えに来ることができない場合などは、職員室に併設されている医務室で他の子どもとは隔離し、保育士が付き添いながら保護者の迎えを待つ体制をとっている。また、発生頻度については、子どもが卒園するまでには、ほとんどの子どもが1回や2回は、体調不良で保護者を呼ぶことがある。

問 お迎え型病児保育事業について、どこまで把握しているか、また富士宮市として導入の意思はあるか。

部長 富山市で導入している例からすると、保護者が迎えに来ることができない場合、保護者にかわって看護師と保育士がタクシーで迎えに行き、かかりつけ医などを受診したあと、園の病児保育室で子どもを預かるというシステムであり、富士宮市としては、病児を預かる保健室が必要なため、まず、新しい児童館と、子育て支援センター開設後に予定している大宮保育園に病児保育室を開設し、必要に応じて研究をしていく。



▲保育園では、急に体調を崩す子どもがいる。



す わ べ たかとし
諏訪部 孝敏 議員
(政経会)

障がいのある方への支援について

問 障がいに関するシンボルマークの現状と市民への周知について伺う。

部長 ヘルプマークは、平成29年7月に案内用図記号としてJIS規格に追加され、全国的な普及を目指している。ヘルプマークをつけることで周囲に配慮を必要としていることを知らせることができる。シンボルマークの利用状況について当事者などの意見を伺い、誰もが住みやすい街づくりに役立てていきたいと考えている。

消防団への支援について

問 消防団応援の店の協賛及び協力店設置について伺う。また、埼玉県各市町では消防団の応援の店ということで消防団へ入団を促進し、地域防災力向上を図るという制度を提案したい。

部長 現在、静岡県では地域防災のかなめである

消防団員を支援することを目的としたふじのくに消防団応援連盟事業を実施している。

共生型サービスを提供する事業所の拡充について

問 子どもや高齢者、障がい者が日常的にかかわりを持つことで、子どもには健全な育成、高齢者は子育て支援などで役割を持ち、健康を維持する効果があり、障がい者は活躍することで自我実現に効果があると期待される。今後、当市においても共生型サービス事業所が設置されると予想されるが、共生型サービスについて伺う。

市長 共生型サービスは、高齢者や障がい者の福祉サービスの選択肢を広げるものであるとともに、高齢者、障がい児者が相互に日常的なかかわりを持つことにより、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともにつくっていくという共生社会の理念を持ったサービスと考えている。同じように住み慣れた地域で生き生きと暮らせる福祉のまちづくりに取り組んでいく。



まつなが たかお
松永 孝男 議員
(富岳会)

側溝の危険防止対策について

問 ふたのない側溝で歩行者が転落して骨折する事故や自転車で転落して死亡する事故が発生している。最近5年間で側溝への転落事故は、どの程度把握しているのか。

部長 平成29年11月に歩行者が転落して右手を骨折した事故、30年10月に自転車で転落し、死亡した事故、また鉄工団地前の市道で高校生が転落して怪我をした事故の3件を側溝への転落事故として把握している。

問 通学路に、ふたのない危険な側溝はないか。

教育長 通学路は年に1回、各小・中学校へ通学路の改善要望調査を実施している。側溝のふたがないなどの危険な場所は、関係機関に依頼し改善している。また、全ての側溝にふたがあるわけではないので、子どもたちの危険回避能力を高める

ため、道路の歩行や通学の仕方について、学区の実情に応じた具体的な指導をこれからも行っていきたいと考えている。

問 ふたのない側溝の短期的、長期的な危険防止対策を伺う。

部長 短期的な対策としては、車止めパイプに反射鏡を取り付けた小型のバリケードを設置するなどの暫定的な安全対策をする。長期的には、現地の状況や危険度などを判断し、計画的に側溝の改良を進め、危険防止を図っていきたい。

歩行者が転落した場所には小型バリケードを設置し、自転車で転落事故があった水路には、歩道として利用できるように順次、暗渠※化を進めている。事故のあった場所は、工事済み。高校生が怪我をした側溝には、31年度から順次、ふたがけをしていく。



※暗渠（あんきょ）…地下水路のこと



さの かつし
佐野 孜 議員
(政正会)

富士宮北部の自然環境と再生対策

問 ①人工林の台風による倒木の処理 ②小田貫湿原等の自然環境の保全対策 ③各河川の汚染の度合いと浄化対策

部長 ①県による「森の力再生事業」により森林所有者の了解を得て森林事業体等が森林を復元させるため倒木を片付け、自生する樹種を誘導する ②春と秋の年2回ススキの火入れを実施し、草原の景観を保持する。小田貫湿原は平成31年度から3年かけて地質や水の流出入状態等を調査し、乾燥化防止対策の策定まで行う予定 ③水質検査では、芝川水系は北山用水取水口で、潤井川水系は富丘橋で測定。現在は環境基準達成。家庭生活排水は、浄化槽の適正な維持管理。工場等の浄化対策は、県と協力し排水を監視。在来水生生物の再生対策は、植生等の浄化機能を守り、自然

の再生能力を高める。

国立病院機構静岡富士病院の移転による影響

問 重症心身障がい者の受け入れ可能場所は。

部長 個々の事情に即した障害福祉サービスを提供するため、相談支援事業所と連携し、専門の相談員による個別相談支援や、障害福祉サービス事業所につなぐ支援を行っているので、その場合は、問い合わせいただきたい。

学校教育環境の整備に対する取り組み

問 ①校舎の構造上の安全対策 ②学校に不審者が侵入した場合の対策

部長 ①生徒の昇降口の扉の方式は現状では統一できないが、滑り止めは毎年実施している。

教育長 ②学校では登下校中を含め、不審者に遭遇したときの自分の身は、自分で守ることができるよう、警察等関係機関の協力を得ながら防犯教室を開催。また、避難訓練の際に、地震や火災だけでなく、不審者が侵入してきたときの想定で訓練を実施している。教職員に影響が及ぶ場合は、生徒指導担当などの教職員が対応。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員
(日本共産党議員団)

北部地域の生活利便性向上と地域活性化について

問 市街化調整区域における店舗面積の規制緩和及び買物・通院支援の手段としての小型ワンボックスカー運行について、どう考えるか。

部長 地域の実情に合った規制緩和の手法について検討するとともに、地域の方々に交通対策に関する提案・情報提供を行っていききたい。

問 国立病院機構静岡富士病院の跡地活用について、どう考えるか。

部長 医療・福祉施設あるいは医療研究所などの分野を含め、民間による土地の有効活用を幅広く検討していくことも必要と考える。

地産地消と遊休農地活用の推進について

問 学校給食食材供給団体（仮称）の設立で地産地消の推進と遊休農地の活用につながると考える

が、いかがか。

部長 平成30年度1月現在で、学校給食における富士宮産の野菜使用率が34.4%と伸びているので、現在の仕組みを維持していく。

命に関わる生活道路の拡幅問題について

問 救急車や消防ポンプ車が入れない狭あい道路の拡幅はどのように進んでいるのか。

部長 過去3年間で21件の生活道路拡幅を実施している。複数年の継続事業となるため、予算の範囲内で実施中の路線が完了後、次の優先度が高い路線を選定し、事業化していく形で計画している。

問 その実績と計画を市民に知らせてほしい。

部長 予算の確保状況と優先順位などについて、できるだけ丁寧に説明していきたい。



の も と たかゆき
野本 貴之 議員
(蒼天)

介護予防・日常生活支援事業の課題と提案

問 次期の計画を策定するにあたり地域包括支援センターの設置個所の増加や生活圏域の見直し、職員の増員を提案するが、どうか。

部長 今後更なる高齢者人口の増加が見込まれるため、次期計画を策定する中で箇所数や配置職員数も含めたあり方を検討したい。

問 民間の既存サービスを活用する受け皿を市がつくっていくべきと提案するが、どうか。

部長 民間の既存サービスの活用を視野に入れるべきと考える。さまざまな主体がサービス事業を行う場合、市の生活支援体制整備事業であることを明確にし、安心して利用してもらう必要があり、議員提案のように考えていきたい。

問 各事業所のケアマネジャーは利用者が住んでいるそれぞれの地域包括支援センターの主任ケア

マネジャーと連携・指導を受けているが、移動時間等が業務の負担になっている。工夫は。

部長 そういふことがあると推察する。今後、負担が増えるようであれば対応の仕方について考えていきたい。

大規模災害時の生活用水の確保と提案

問 富士宮市地域防災計画に生活用水の必要量は含まれているのか。

部長 第1次給水（発災から3日間）は生命維持のための最小限量としている。第2次給水（発災4日～7日）より後に最低限度の洗濯や浴用に必要な水量としている。一般的に必要なとなる1人1日200ℓの給水までは、約1カ月要する。

問 生活用水確保のために井戸の協力協定の締結や防災井戸の整備を提案するが、どうか。

部長 防犯上や個人のプライバシーの問題があり、市として進める考えはない。防災井戸の整備も膨大な費用など諸課題があり、市として考えていない。ただ、生活用水の確保は必要なので、自助や各自主防災会の共助を促したい。



いなば こうじ
稲葉 晃司 議員
(蒼天)

**富士宮市立病院の現状について
～地域医療を守るために2019～**

問 平成31年度の富士宮市立病院の診療体制はどのようになるのか、今後の病院経営の見通しをどのように想定しているのか。

病院長 31年度は、現在建設中の地域包括ケア病棟が10月にオープンし、既存建物内の3A病棟を整形外科病棟として再編する。診療体制については、外科、整形外科において、常勤医が1人ずつ増員となる。特に現在診療体制を縮小している整形外科において、浜松医科大学から増員が決定し、4人体制となる見込みとなった。また、懸案となっている泌尿器科の医師についても、現在週2日、非常勤医師を京都府立大学から派遣していただいているが、さらに常勤の医師を派遣していただくことができるよう、現在泌尿器科の教授の

ご意見を伺いながら、手術に必要な医療機器等の整備について、内容を精査し進めている。その他の診療科については、増減がないので研修医1人の増を合わせ、64人体制となる。病院経営の今後の見通しは、一部診療科の診療体制縮小などにより、25年から赤字決算となっている状況にある。しかし、整形外科医師の増員により、徐々に診療体制が整備されつつある。引き続き、医師確保対策を最優先課題とし、収益の確保、経費の削減対策など、病院経営に有効な施策を着実に実行して、経営改善につなげていきたいと思う。



▲富士宮市立病院



てしま こうじ
手島 皓二 議員
(富岳会)

住みたくなる富士宮市を実現するための理念について

問 富士宮市のまちづくりの基本的な考え方は、どうあるべきか、改めて伺う。

①「まちづくり」の基本理念として、そもそも「まち」をつくるとは、一体どのような理念なのか
②「有徳のまち」とは、どのような「まち」をイメージするのか ③「活力と豊かさのあるまちづくり」の、あるべきすがたについて ④「環境・医療・福祉の充実したまちづくり」に、行政並びに市民として、どのような基本理念と基本意識をもつべきか ⑤「財政の安定したまちづくり」とは、どのような財政運営を考えるべきか ⑥「品格と教養のあるまちづくり」をどのように形成するのか。

市長 議長のご一般質問は異例のことではあり、市長選挙の公開討論のようでもあるが、私から誠意

をもって答弁する。「まちづくり」の基本理念は、市民の共有空間を、地域の風土等を生かし、幸せに結びつけていくための環境整備だと思う。「有徳のまち」及び「活力と豊かさのあるまちづくり」とは、「市民憲章」そのものにある。また、個人的には、孔子や孟子の道徳の教えにあると考える。環境・医療・福祉の基盤をなすのは、優しさと思いやりであり、市民自身の果たすべき役割は、身近な人を大切にすることが大切であると考えている。品格と教養のあるまちづくりとは、「国家と教養」と「国家の品格」の著者である、藤原正彦氏のいう「正義感・勇気・忍耐・誠実」ではないかと考える。

教育長 富士山のもとで育ったことを心にもち、育つことで、富士宮市の歴史文化が、より素晴らしいものになっていくと思う。

要望 市長のモットーである「次に来る旅人のために泉を清く保つ」を活かすためにも、子孫に借金を残さない健全財政を厳守してほしい。理念は抽象的であるが、考え方を議論することも意義がある。

進 新 会

(中村 憲一 議員)

富士市との合併について

問 芝川町との合併から10年が経過し、その効果を肯定的に評価していると推察するが、今後の本格的な人口減少時代を迎える中で、富士市との合併はあるのか。

市長 当市には、すばらしい地域特性があり、それを生かした持続可能なまちづくりを進めたい。また、当市の人口13万人は、基礎自治体として適正規模なので、合併は考えていない。

市立病院の病棟の建て替えについて

問 地域包括ケア病棟完成後に、本病棟の建て替え着手はいつを予定しているのか。

市長 平成31年10月に地域包括ケア病棟を計画どおりにオープンさせるとともに、3階に整形外科病棟を再編する等、診療体制の充実と、それに伴う病院事業の収支の改善状況を注視しながら、建て替え時期を検討する。現状では、いつ建て替

えるのかは、言える段階ではない。

当市自らの再生可能エネルギー政策について

問 市民の設置に対する補助にとどまらず、地域循環共生圏及びSDGs未来都市の理念に則した、市の再生可能エネルギー政策の取り組みは。

部長 再生可能エネルギーのうち、発電事業については、市が事業主体となることは考えていないが、国が進める地域循環共生圏等のメニューには積極的に対応し、その理念に則して民間事業者が行う発電事業等の環境ビジネスの創出を支援し、地域活性化につなげていく。

地域産業の活性化について

問 特定の付加価値の高い産業を集積させ、育成する産業政策が必要では。

参事 産・学・官連携により、農業のIT利活用で最先端を達成し、農業の産業競争力向上、高品質な農産物生産、周辺産業として、農業に関する各種情報を高度に利活用するAI農業により、農家の知識産業化を実現したい。

蒼 天

(植松 健一 議員)

芝川町との合併による課題は

問 芝川町との合併から10年を迎えるが、その成果や原状の課題について伺う。

部長 稲子川温泉ユース・トリオのリニューアルや、芝川地区の施設の再利用を行った。また、移住・定住施策の推進により稲子小学校の児童数が5倍になった。芝川地区の祭りやイベントも、市内外への情報発信により、多くの方が訪れるようになった。中部横断自動車道の整備により今後、芝川地区を訪れる人を増やしたい。

子どもの居場所づくりは

問 公共施設の活用による子どもの居場所づくり、学びの場の創出の推進について伺う。

部長 本市では子育て支援の充実を図ってきた。平成31年度既存の公共施設を活用した子どもの居場所づくり、学びの場を創出するわくわくキッズスペースプロジェクトを実施する。

工業団地の必要性について

問 企業の誘致・留置の取り組みとしての新たな工業団地の必要性について伺う。

参事 多方面からの要望のあることについては認識しており、必要性を感じる。30年度は、粟倉地先の公共用地で立地可能性調査を行ったが、土砂法の課題があり断念した。31年度には、新たに山宮地先の公共用地にて、再度可能性調査の実施に向け準備を進めていく。

いじめ防止について

問 市内小・中学校において、いじめが発生している。いじめ防止への取り組みについて伺う。

部長 昨年4月にいじめ防止基本方針を策定し研修を行っている。校内いじめ対策委員会を常設で設置することとなっている。いじめを認知したら委員会に報告して組織で対応し、保護者に報告するなど、市内全校が共通理解のもとで適切な対応ができ、より一層適切な未然防止、早期発見、早期対応が可能になると考える。

富岳会

(松永 孝男 議員)

問 第5次富士宮市総合計画の後期基本計画の策定手順と骨子を伺う。

部長 平成33年度から37年度までの第5次富士宮市総合計画後期基本計画の策定については、31年度は、市民アンケート調査を行い、現状分析、問題点・課題の整理を行う予定。32年度は、土地利用計画や各部門の計画を盛り込み、後期基本計画の素案を作成する。この素案をもとに全員協議会やパブリックコメントで意見を集約し、32年度末までに計画を策定する。

後期計画の骨子については、人口減少と地域経済の縮小を克服するため、地方創生の取り組みをより深めたものとSDGsの要素を反映させたものを盛り込みたいと考えている。

問 SDGsの持続可能な開発目標を将来にわたって維持し続けるためには、市民の理解と協働が不可欠だが、どのように機運の醸成をしていくの

か。

部長 SDGsの推進には、市民の理解と協働が不可欠であることは認識している。富士山まちづくり出前講座の開催や、啓発グッズの作成により周知を図る。また、既存の事業にSDGsの目標になるものが多くあり、既にSDGsにかかわっていることを認識してもらい、これらの事業に効果的に17のアイコンを掲示して、市民に周知を図っていく。

所感 市民と行政が一丸となって、輝く富士宮の未来のために目標を達成していきたい。



▲ SDGs（持続可能な開発目標）で掲げる17の目標にちなみ17色で彩られたSDGsバッジ

日本共産党議員団

(渡辺 佳正 議員)

各々項目別に質疑を行いました以下のような所感です。

- 1 議会からの提案（市民の要求）が重点施策の随所に盛り込まれていることを高く評価する。
- 2 政府の公文書改ざんや不正統計調査などで景気判断の根拠が大きく崩れている中で、国の景気判断に基づく消費税増税を前提とした市の姿勢には疑問を感じる。
- 3 SDGs元年というからには、市政の課題とSDGsの視点をどう関連付けるかを市民に理解していただけるように、丁寧な説明と実践が今後求められる。
- 4 「人口減少社会に打ち克つ」という表現から一歩踏み込んで、子育て支援や真の働き方改革な

どで10～20年後には富士宮市の人口減少に歯止めをかけて、将来的には人口増加を目指していくという姿勢を明確に打ち出していきたい。

5 企業ガイドブックの配布やインターネット配信で、富士宮市への就職を希望する若者が増えることを大いに期待する。

6 河川・山林の整備や地区防災計画の策定による防災対策、地下水・環境保全の観点から強く求められる家畜ふん尿対策、子育て支援とともに人口減少時代に求められる本物の働き方改革などの重要な施策が、施政方針の中で直接言及されていないことを残念に思う。

7 わくわくキッズスペースプロジェクトの開設や放課後児童クラブ利用料減免制度の導入を高く評価すると同時に、今後のさらなる展開・拡充を大いに期待している。

公明会

(諸星 孝子 議員)

問 SDGsの視点を市政運営に取り入れることについて具体的な目標はあるか。

部長 第5次富士宮市総合計画前期基本計画の分野別の基本目標と政策と同調しているものも多くあり、既に多くの部署で事業に取り組んでいる。SDGsに関する情報収集や基本理念の理解から研究を始めているが、各課協力のもと、現体制で実施していきたい。

問 富士山世界遺産センターと富士山本宮浅間大社周辺に訪れた方の声と流れを伺う。

部長 中心商店街への流れは、食事や買い物等で訪れるお客さんは増えている一方、全体から見るとまだ十分といえないとの声もある。

そのため、市民と協働で回遊参道まち歩き連絡会を立ち上げ、観光客の動向調査やおやつ食べ歩きマップ、ランチマップを作成し、職員が直接、観光客に手渡すなどの取り組みをしている。JR富

士宮駅からの観光客の誘導方策として、平成29年、30年において、商店街を通るルートを中心に、駅、浅間大社、富士山世界遺産センター、神田川観光駐車場を案内する歩行者用の路面案内サインを合計45カ所整備した。

問 自転車を活用した魅力の取り組みは何か。

部長 28年に策定した、「サイクリング×キャンプツアー」の具体策として実施するもの。実施内容は、民間企業と連携し、レンタル自転車として用意される、Eバイクといわれる高性能電動アシスト自転車を使い、市街地からスタートして朝霧高原をめぐる自転車のツアーを、本市の新たな魅力として実証的に実施していきたいと考えている。本市の地形は勾配が多く、一般の人が自転車で長い距離を移動することは困難ですが、Eバイクであれば、気軽に市内をめぐる自転車ツアーが楽しめると考えている。



改正会

(深澤 竜介 議員)

問 平成31年度は富士宮市の「SDGs元年」であるが、持続可能なためには、空き家の増加、コンパクトシティ化が避けて通ることはできないと考えるが、市域の広い富士宮市の場合、どうやって、持続可能とするのか。

部長 駅周辺に主要な施設が立地し、まちなかはおおむね達成できていると考える。市街化調整区域の集落拠点では既存制度を活用し、拠点機能の強化を図りつつ、ゆとりある住環境を創出することで、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

問 今後、富士宮市の観光施策の方向性は、どういう方面なのか。海外志向なのか、国内なのか、通過型か、滞在型か。

部長 滞在型を強化していく必要があると考えている。

問 28年度の施政方針で示された、日本一の

バーベキューのまちは、その後どうなったのか。

部長 市のHPでは、市内でバーベキューができる施設の案内も掲載しており、今後もイベントや情報発信を通じ日本一のバーベキューのまちに取り組んでいく。

問 富士山富士宮口の五合目レストハウス本体の改築等の方向性はあるのか。

部長 現時点では明確な改築等の方向性はない。30年から静岡県が中心となって、富士山富士宮口五合目来訪者施設検討会を開催し、検討を始めたところである。

問 富士山世界遺産のまちづくりのハード整備については特命担当を配置するとあるが、ソフト面は、どうするのか。

部長 関係部署が連携し、現体制の中で行っていく。また、まち歩きマップの活用、観光ボランティアガイドの会とも連携し、周知宣伝活動に取り組んでいく。

政経会

(村瀬 旬 議員)

問 中学生、教員の英語圏派遣について、これまでの成果と考察をお聞かせ願いたい。

教育長 中学生参加者の事後アンケートによると、ほとんどの参加者から、満足しているという回答を得ている。帰国後の追跡の聞き取りによると、英語学習に対する意欲が向上し、コミュニケーション活動にも積極的に活動している。また、進学先も英語を専門として学ぶコースを選択し、国際社会で活躍する人材育成に向けて着々と進まれている生徒もいる。教員については、自己課題に対する評価はおおむね達成できたと評価している。海外派遣研修の目的は、単なる英語力の向上だけにとどまらず、これからの子どもたちに必要とされるグローバル社会を生き抜くために、どんな力が必要であるのかを、生徒及び教員みずからが実際に海外で生活し、考え、感じるこ

で、それを今後に活かしていけるようにするということが大きき目的である。その点では、成果を得ていると考える。

問 市史編さん構成内容等について尋ねる。

部長 平成30年度に、他市で刊行された市史の事例の調査や、市史として取り扱うべき分野の検討などを行ってきた。また、郷土資料館で所蔵する市史にかかわる資料の調査も開始している。31年度は、市史編さん委員会の設置を計画しており、委員は現在、史跡富士山整備委員会の委員をお願いしている先生など考古、歴史、民族及び環境などの分野の方々の構成を考えている。また、市史は新たに写真や図説等を使い、市民の方に親しみやすく、わかりやすいものとして、原始から現代までの市の歴史を網羅したもの、年中行事や催事をまとめたもの、火山や植物の様子をまとめたものなどで構成を考えており、市制80年に刊行を計画していく。

無会派

(遠藤 英明 議員)

問 第5次富士宮市総合計画前期基本計画は、順調に推移しているか。

部長 前期基本計画258事業のうち、246事業については完成または着手している。前期基本計画は順調に推移している。

問 消費税10%への増税分の使途は、富士宮市にどのような影響を及ぼすのか。

部長 子育て支援として幼児教育無償化、介護職員等への処遇改善加算が検討されている。

問 世界経済は回復基調だが、日本経済の動向を踏まえ、予算編成をもうろんだのか。

部長 通商問題の動向、中国経済の先行き等を十分留意し、歳入は特定財源の確保に努め、歳出はコスト意識を強く持った予算編成に努めた。

問 地域社会のコミット、地域包括ケア病棟は、医療と介護の橋渡しをどのように考えるか。

部長 介護する方のさまざまな事情を考慮し短期

入院を受け入れるレスパイト入院を実施し、地域包括ケアシステムの中での役割を担う。

問 ふるさと納税は、今や富士宮市の貴重な財源である。富士宮市ならではの取り組みに、今後どのような戦略的企画を描いているのか。

部長 これまでのアクティビティーのほか、観光パッケージプランの提供、農業体験等で魅力的な返礼品の企画を行う。

問 岳南北部幹線道路の朝夕の混雑に、西富士道路の交通量緩和にもつながることから、この道路整備の今後の予定はどうか。

部長 31、32年度は用地交渉を継続、32年度から5年間で工事を完了し、36年度には第1期工事区間の開通を目指す。

問 富士根南地区の交流センター整備は、早期の完成を期待されるが、今後の見通しは。

部長 31年度から地権者と具体的な交渉を行い、関係機関と調整を図りながら35年度のオープンを目指して進める。

予算審査特別委員会

【佐野 和彦 委員長のコメント】

3月7日及び8日の2日間にわたり、平成31年度予算審査特別委員会が開かれ、各委員から非常に活発な質疑、一步踏み込んだ意見が多く交わされ、その中で要望等も多く出されました。

厳正な審査の結果、平成31年度予算に関わる12の議案について、全会一致で原案のとおり可決となりました。

SDGs元年になるのにふさわしい予算となったことと評価します。



▲佐野 和彦 予算審査特別委員会委員長

会派が注目する平成31年度に予算化された事業

日本共産党議員団	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童健全育成事業（ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用料助成金） 756万円 	ひとり親家庭に対する助成は、この間要望してきた施策である。県の補助金を活用、1ヵ月の利用料の2分の1補助、上限3000円である。現在の利用料はおやつ代も含め1万円の所もある。今後も実施する中で増額を求めている。
公明会	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘客活動委託料 欧米着地型旅行商品企画費補助金 合計640万円 	外国人観光客誘致促進のため、民間事業者と共同開発するパッケージに対して、予算内容は当然だが、使途にも公平、透明性をもった事業展開を望む。また、アンケート調査結果を活かした事業を期待する。
政正会	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘客活動委託料 欧米着地型旅行商品企画費補助金 合計640万円 	ラグビーW杯、東京オリンピック・パラリンピック、その後の海外からの観光客増加（特に欧米からの個人客）にむけて、魅力的なパッケージ商品が作られ、富士宮市内での経済の循環が起こることを期待する。
蒼天	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバ網整備事業 1億8465万6千円 	今まで情報格差というものが光ファイバ網の整備・未整備により生じていたが、この事業によって解消されることとなり、居住や起業の面においても機会や自由度が広がる。市内北部地域の活性化にとって、非常に期待できる事業である。
政経会	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎維持管理事業（旧勤労青少年ホーム・児童館解体工事費） 4500万円 	建設が決定している児童館及び子育て支援センターの用地確保であり、富士宮市の将来を担う子どもたちの育成には、大切な施設として期待される。
富岳会	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地推進事業 1億8555万円 	富士山南陵工業団地または工業用地進出企業に対し、企業立地促進事業費補助金、地域産業活性化等を目的とした産業振興事業費補助金及び企業立地支援事業補助金が計上されている。今後も企業が富士宮市に進出できやすい環境づくりに期待したい。
進新会	<ul style="list-style-type: none"> 富士宮市・芝川町合併10周年記念事業 280万円 	周年記念事業は、今後の開催はない。ならば刹那的式典ではなく、未来につなぎ、残るものがベスト。 光ファイバ網の地区内の整備拡大に伴い、あわせて、学校にICT機器導入基金などを設立すれば、情が後世に伝達されるはずだ。
無会派	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税等賦課事業（GIS一体型土地評価システム導入委託料） 4041万2千円 	31年度事業として、固定資産税等賦課事業のうち、GIS一体型土地評価システム導入委託料。 土地評価の一元化及び家屋評価との連携を確立するために、GIS一体型土地評価システムを導入するという事業。

ICT利活用推進特別委員会の報告

【鈴木 弘 委員長のコメント】

平成 28 年、先進地である埼玉県飯能市へ議会運営委員会で視察を行い、タブレット端末の調査検討に取り組み始めました。その後、29 年 3 月に ICT 利活用推進特別委員会を設置し、以来 19 回の特別委員会の開催、1 回の視察を実施し調査を進めてきました。

タブレット端末等に関する概算費用の算出やデモを行い、有益性について検討しました。その結果、導入により、議員と議会事務局との連絡調整等を円滑に行えること、ペーパーレス化が促進できること、議員がどこにいてもさまざまな資料の閲覧や検索が容易となること、それにより議案審議の質が向上し、審議が深まることなどが期待できます。

以上のことから、当委員会では、タブレット端末等を導入することが、有益との結論に至りました。

タブレット端末等に係る禁止事項や遵守事項を定めた「富士宮市議会における貸与端末機の使用基準」も作成し、タブレット端末を、31 年 11 月定例会から運用することとしました。



▲ ICT 利活用推進特別委員会の様子

政務活動費・議長交際費

●政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき条例で定められ、議会の監視機能強化や政策立案能力向上を図るため、視察調査をはじめ、資料作成・資料購入・研修参加など、議会活動へ活用しています。当市議会では、1 人当たり年額 30 万円が会派に交付され、年度末の残額は市に返還しています。

平成30年度 会派別 政務活動費 使途内訳

項 目	日本共産党 議員団	公明会	政正会	蒼 天	政経会	富岳会	進新会	無会派	合 計
所 属 議 員 (H30.4.1 現在)	2 人	3 人	2 人	3 人	5 人	4 人	2 人	1 人	22 人
交 付 決 定 額 (A)	600,000 円	900,000 円	600,000 円	900,000 円	1,500,000 円	1,200,000 円		300,000 円	6,000,000 円
決 算 額 (B)	300,558 円	493,028 円	261,240 円	502,555 円	872,052 円	286,955 円		104,322 円	2,820,710 円
差 引 返 納 額	299,442 円	406,972 円	338,760 円	397,445 円	627,948 円	913,045 円		195,678 円	3,179,290 円
交付額に対する執行率 B/A	50.1%	54.8%	43.5%	55.8%	58.1%	23.9%		34.8%	47.0%

※政務活動費の内容について、詳しく知りたい方は HP 等で閲覧できます。

●議長交際費とは

議会の対外的な活動をするため、議長が議会を代表して外部の個人や団体との交際や交渉に要する経費で、社会通念上妥当な範囲で必要最小限の支出に努めています。年間予算額は 70 万円です。



今後の定例会の開催日 傍聴できます！

**6月定例会：6月24日（月）～
7月11日（木）まで開催予定**

- ◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。
- ◆市議会ホームページから確認できます。

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

.....

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に
郵便→〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地 富士宮市役所 市議会事務局あて
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp

議会を『ネット』でみよう！

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。本ページ右下の帯にあるQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からでも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

————— [平成30年度視聴実績] —————

■録画映像……………4,646件 ■ライブ中継……………10,529件

1年間ありがとうございました

【佐野 孜 委員長のコメント】

議会だより「笑顔のために」をご愛読いただき、ありがとうございました。広報誌の内容が、縦書きから横書きに変わり、皆さんが市議会の議会運営を身近に感じ、笑顔を作り出す源になっているか、どのような感想を抱いているのだろうかと常に考えます。市議会や行政機関が、皆さんの幸せのために、どのような方針を出しているのか、誰もが優しい言葉をかけられると自然と笑顔になってきます。これからの市議会の内容も、皆さんの笑顔のために審議し、実行していく過程をわかりやすく届けようと思っています。

▲議会だより編集委員会委員

おわびと訂正

前号の議会だより「笑顔のために」411号の2ページ（常任委員会）にありますが総務文教委員会と産業都市委員会の写真が入れ替わっておりました。ここに深くおわびし、訂正いたします。ホームページに掲載されております前号の議会だよりは、訂正したものとなっておりますので、ご了承ください。

編 集 後 記

2月定例会も終了し、平成31年度予算も全会一致で無事可決され、あとは新元号のもと、輝かしい富士宮市の未来に向けた予算執行が行われることを期待しています。

この議会だよりが皆様のお手元に届くころには、市議会、そして議会だより編集委員会のメンバーも新しくなり、大いに期待していただくところです。

結びに、この議会だよりを通じて市民の皆様が市議会が身近に感じていただければ幸いです。

議会だより編集委員 村瀬 旬

早いもので「笑顔のために」も今期最終版、市民の皆様が議会活動をご理解頂くために委員も日々努力を重ねてきました。親しみを持って愛読いただけましたでしょうか。

市民参加型の議会だより「笑顔のために」は、各地域の歳時記や子どもたちの活動を題材とした表紙づくりを致しました。今月号の表紙は、2月定例会を傍聴する北山小学校6年生（35人）に表紙を飾っていただきました。次号につきましては議会だより編集委員会委員も刷新されます。次号からの「笑顔のために」も楽しみにお待ちください。

議会だより編集委員 小松 快造